

# 第 14 期 決 算 公 告

広島県広島市南区皆実町二丁目7番1号  
瀬戸内パイプライン株式会社  
代表取締役 田村 和典

## 貸 借 対 照 表

(平成29年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	304,786	流動負債	766,210
現金及び預金	500	1年以内返済予定の長期借入金	351,796
売掛金	22,496	1年以内返済予定の関係会社長期借入金	295,916
関係会社売掛金	77,509	買掛金	26,444
未収入金	-	関係会社買掛金	765
原材料	4,425	未払金	29,128
貯蔵品	6,844	未払法人税等	42,418
関係会社短期貸付金	193,011	未払費用	16,028
		関係会社未払費用	2,684
固定資産	5,140,248	預り金	1,028
有形固定資産	5,139,980		
建物	46,370	固定負債	3,839,041
建物付属設備	7,990	長期借入金	1,436,632
構築物	7,583	関係会社長期借入金	2,279,805
機械装置	4,174,376	資産除去債務	110,461
工具器具備品	1,199	繰延税金負債	12,142
附帯事業設備	902,458	負債合計	4,605,251
		純資産の部	
無形固定資産	36	株主資本	839,783
電話加入権	36	資本金	150,000
		資本金	150,000
投資その他の資産	232	資本剰余金	150,000
長期前払費用	82	資本準備金	150,000
その他投資	150	利益剰余金	539,783
		その他利益剰余金	539,783
		繰越利益剰余金	539,783
		純資産合計	839,783
資産合計	5,445,034	負債及び純資産合計	5,445,034

## 個別注記表

〔平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで〕

### I. 重要な会計方針に関する注記

#### 1. 資産の評価基準および評価方法

たな卸資産の評価基準および評価方法

移動平均法による原価法

(貸借対照表価格は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物、建物付属設備、構築物、機械装置、附帯事業設備

定額法

工具器具備品

定率法

#### 3. 収益および費用の計上基準

収益は実現主義、費用は発生主義により計上しております。

#### 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

### II. 当期純損益金額

1. 当期純利益の金額 198,639 千円